

平成29年9月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成29年9月26日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時50分	
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	奥 津 晋	
	委 員	塩 田 澄 子	
	委 員	藤 原 佳 代 子	
	委 員	石 井 希 典	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	安 田 充 年	教育次長	天 野 和 弘
統括審議監	小 西 洋 史	審議監 (学校教育担当)	三 宅 泰 司
審議監 (社会教育担当)	澤 岡 哲 雄	審議監 (企画総務担当) (教育企画総務課長事務取扱)	村 田 守
教育企画総務課企画調整担当課長	杉 原 光 治	教職員課長	奥 橋 健 介
指導課長	岡 林 敏 隆	指導課教育支援担当課長	服 部 道 明
保健体育課長	山 田 裕 史	保健体育課課長代理	泉 利 絵
地域子育て支援課副主査	岡 崎 主 馬		
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	生 田 裕 宣	事務局 (教育企画総務課副主査)	長 森 晴 子
5 議題及び結果			
報告第 21 号	専決処理の報告 (市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承	認
報告第 22 号	専決処理の報告 (市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承	認
報告第 23 号	専決処理の報告 (市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)	承	認
6 教育長等の報告 [平成29年8月11日 (金) ~平成29年9月15日 (金)]			
8/16	おかやまっこ未来フェスタ2017	指導課	
8/17	新学習指導要領岡山市説明会	指導課	
8/20	自然体験リーダー養成講座 step1-①	地域子育て支援課	
8/20	岡山市ジュニアオーケストラ第53回定期演奏会	地域子育て支援課	

8/22	こらぼミーティング「教育委員会と校園長会代表者との懇談会」	教育企画総務課
8/23	就学・教育相談会	指導課
8/24	就学・教育相談会	指導課
8/26	おかやまイングリッシュビレッジ事業留学体験 in 中国学園	地域子育て支援課
9/2	自然体験リーダー養成講座 step1-②	地域子育て支援課
9/14	教育長学校訪問	教育企画総務課
石井委員 指導課長	<p>○ 1番のおかやまっこ未来フェスタ2017について、私も子どもを連れて参加させていただいた。今回初めての取組と理解しているが、目的、概要について説明願いたい。</p> <p>○ お盆明けの8月16日の水曜日、おかやまっこ未来フェスタ2017を教育委員会として初めての試みで開催した。</p> <p>まず、位置づけとしては、おかやまっ子チャレンジアッププロジェクト、頑張る学校応援事業を県が行っていたが、それに替わって、子どもたちの活躍の様子、学校の頑張っている様子をしっかりと市民にお知らせすることである。この後、そういったよい取組をお知らせするような工夫もしていこうと思うが、この8月の夏休みの間に、イオンスクエアを使って、実際の姿を市民に周知をすることである。それから、学校教育への注目度、関心度を高めていくこと、各学校の特色ある取組の状況を把握するという意味合いで取り組んでいた。</p> <p>内容としては、ステージの発表の中で、新しい学習指導要領の概要や岡山市教育委員会で行っている内容、具体的に言うと、岡山型一貫教育や地域協働学校の考え方について説明をし、教育に対する興味関心を高めるということで、簡単な実験等も紹介した。</p> <p>それから体験コーナーでは、英語活動、簡単な図画工作、生活科で扱うような動くおもちゃの工作を子どもたちと一緒に取り組んだ。あわせて、岡山市学力アセスの問題の抜粋を用意して、いろいろな年代の方にチャレンジをしていただいて、これも結構な参加をいただいたところである。</p> <p>メインは、市内の小学校、中学校全校に特色ある取組ということでパネルをつくっていただき、半分ぐらいのスペースをとって展示をした。これは結構反響が高く、大人の卒業生の方や、就学前のお子さんを連れだご家族連れなど、関連する学校のパネルの前で記念写真を撮って帰るといったことが遅くまで行われていた。</p> <p>それから、夕方からは中学校体育連盟の皆さんにご協力いただき、来年度全国大会が行われるので、その宣伝と、特に剣道をやるということなので、剣道部の代表の方に来ていただいたの体験コーナーでも盛り上がった。また、本来はもっとあってもよかったが、中学校7校の子どもたちに来ていただいて、学校の様子を紹介していただくことでも盛り上がった。</p> <p>2,000人前後という参加者であるが、通りすがりの方を入れると、かなりの方が興味関心を持っていたのかなという感じである。関連する業者の方も、やってみてよかったということで、来年度に向けても予算要求していこうと考えている。</p>	
石井委員	<p>○ 私自身も参加させていただき、特に学校紹介のところは、自分の卒業した小学校があると、普段はなかなか遠く離れたものが、また近くに戻ってくるような感覚を改めて感じた。また、理科の授業は、テレビでするようなおもしろい形でされていて、それを一般の方に見ていただくのは非常によかったと思う。地域で子どもたちを育てることに向けて、新たな取組として価値があったように感じた。</p>	

<p>藤原委員 指導課長 藤原委員 指導課長 藤原委員 指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私は行けなかったが、チラシで見ると魅力的な取組だなと思った。これは未来スクエアの5階の方か、それとも下の方か。</li> <li>○ 1階の広場である。</li> <li>○ 1階の広場は有料なのか。</li> <li>○ 有料である。</li> <li>○ どのくらいか。</li> <li>○ 音響や照明等の関係で、広告代理店が入って、周囲のテナントとの調整もしていただくという契約のシステムで、全てで180万円ぐらいであった。司会から展示物の段取りから、それらを全て業者に委託をするということでの契約をした。</li> </ul>
<p>藤原委員 指導課長 藤原委員 指導課長 藤原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 丸1日借りてか。</li> <li>○ 丸1日借りてである。</li> <li>○ 時間で幾らか。</li> <li>○ 時間単位ではない。</li> <li>○ それぐらいかかっても、上のホールだったら足を運ばないとなかなか行かないが、下であれば通りすがりにという人もおられるだろうから、商業的な面や、岡山市の学校教育に関心を持ってもらうということ言えば、効果があると思う。先ほど課長が言われていたが、ぜひ来年も続けてほしいと思う。子どもたちからの評判はよかったのか。</li> </ul>
<p>指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はい、喜んで帰っていただいた。体験コーナーなどでも、子どもたちだけではなく、保護者も一緒に、親子でいろいろやっていただいたので、それはよかったかなと感じた。</li> </ul>
<p>藤原委員 教育長 藤原委員 石井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ぜひ続けてほしい。</li> <li>○ ちなみにイオンの社員の方からも、集客で貢献してくださったと喜ばれた。</li> <li>○ 子ども連れで2人、3人といるから。</li> <li>○ イオンでいろいろなイベントをされているが、かつそれで評価いただけるのは、集客力があつたということであろう。</li> </ul>
<p>藤原委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上からも見えるし。よいことだ。</li> <li>○ 本当によい取組だった。ほかに何かあるか。</li> </ul>
<p>奥津委員 指導課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2番の新学習指導要領の説明会について、どういう形でされたのかと、今後、現場に浸透させていく上で、どのような計画等がされているのか。</li> <li>○ いよいよ新しい学習指導要領の移行期間が来年度から始まるが、それに向けての説明会ということで、一昨年度、昨年度と回を重ねての29年度バージョンという位置づけである。</li> </ul>
	<p>内容的には、大きく2部構成になっており、前段は文部科学省の教育課程課の課長補佐の方に来ていただき、最新の情報の講話をいただいた。それから、後段は中学校区ごとに授業づくり、小中連携、地域協働といったテーマでもって、何を準備するのかということで協議をしていただいたという2部構成である。</p> <p>学校には管理職、研究主任等ということでできれば2名来ていただきたいとお願いしたところ、多くの学校で管理職と担当者というペアに来ていただいた。ただ、文部科学省の方の説明事項で、目新しいものがなかったので、これまで繰り返し伝えられてきたことの確認ということになってしまった。我々も少し何か新しい情報を期待したが、あまりなかった感じがする。内容的には大きな概要というか、総則という分野に入るが、授業時数のことや理念的なこと、そういうものを中心に今回は考えていただいた。</p> <p>逆に後段の研究協議では、中学校区での喫緊の課題等について、管理職を交</p>

えての話合いがしっかりなされていた。

お手元に当日配付した資料を用意させていただいた。新しい学習指導要領の概要を小学校、中学校ごとに整理をしたものである。最近、「これだけは」という名称でいろんなものを出しているが、「新学習指導要領これだけは」ということでお示ししているところである。特に小学校のほうで、来年から道徳が完全実施ということと、それから、外国語活動がどういうふうに行われるのかということで、かなりご心配をいただいたところで、そのあたりの生の声もいただいている。教育委員会として早く方針を出してほしいという声があった。

道徳については、評価の部分が一番気になるところだが、間もなくガイドラインというか、簡単なリーフレットの的なものも用意したいと思っている。

英語活動については、大きく2つの考え方が今、国のほうで示されていて、移行措置ということで、3・4年生が15時間、5・6年生が50時間、今、35時間だが50時間、プラス15時間で移行措置の内容をするのが原則だが、学校ごとに考えていただき、先行実施ということで、3・4年生が35時間、5・6年生が70時間という教育課程でも可能ということである。学校から、岡山市はどうするのか、かなりご質問をいただいているところである。先日、文部科学省の考え方についても確認をしてきて、移行措置の内容で無理なくスタートができればいいのかなということで、今、案を作成しているところである。

藤原委員

- 現場は学習指導要領をもちろん理解できていると思うが、例えばさっきの英語で言えば、これだけの時間、上限をとるのかどうかはともかくとして、現場のスタッフは不安を持っておられるのではないかと。

指導課長

- 中には、中学校から手伝いに来てくれるのだろうかという声や、中学校の英語の先生が小学校に何かアプローチはないのかといった期待をされる声もあるのは確かだが、まずは小学校の先生方が、自分のクラスの子どもたちに、しっかりというか、あまり気負わずに英語の授業ができることが一番なのかなと考えているところである。誰でもできるような英語を求めていただきたいし、これは中学校からも小学校からも聞こえる声だが、なれ親しむということで、英語嫌いをつくらずに中学校へ送ると。中学校も、英語嫌いでない子どもたちをしっかりと受け入れていくということができればよいのかなと話を進めている。

藤原委員

- それが一番の目標だと思うが、それでも担任の先生にとっては、英語は発音も含めて、嫌いにならないためにどう指導したらよいか、ものすごく悩むことではないかと思う。そのあたりを来年度の授業計画や予算要求、例えば教育機器で何か補完するとか、ALTの派遣をどうにかするとか、そういう具体的なことはまだ決まっていないのか。

指導課長

- 今からプラスアルファで何かをするということは予定していない。というのが、今、小学校の先生は実際に5・6年生で外国語活動をやっておられる。その実績は自信を持ってやっていただきたいということが一つある。

それから、何か簡単な教材をということだが、これは国から教科書にかわる教材がもう示されているので、これについて指導計画等をお示ししていきたいと考えている。

もう一つは、小学校、中学校で先行的に研究していただいている学校がある。昨年度で言えば、竜操中学校と庄内小学校。今年度は桑田中学校と操明小学校だが、そういったところでの成果をしっかり身につけながらやっていただくことが大切なのかなと考えている。

藤原委員

- もう一つだけ、英語関係で。例えば、私たちが授業を見に行かせていただいたときに、小学校でティームティーチングという形で地域の方が入っておられたりする例もあったが、そういうボランティアと組んで、ネイティブではない

指導課長	<p>が比較的英語に堪能な人と組むということは、学校裁量なのか。</p> <p>○ 結論から言うと学校裁量で、学校支援ボランティアの活用という位置づけで結構かと思うが、なかなかそうできる学校ばかりではないというのが、背景の一つにある。</p> <p>それからもう一つは、やはり小学校の先生は、全ての教科を自信を持って教えていただくことが一番だと思うので、安易に誰かに手伝っていただくという考えに走られるのはもう一つかなという気持ちがある。最終的には学級担任の先生にしっかり身につけて、誰でもできる英語というものを我々が紹介していきたいと考える。</p>
藤原委員	<p>○ それが正規のルートであると思うが、私の知り合いの小学校の先生で、それがあつために英会話スクールに通い出したという方もいて、相当プレッシャーになっているのかなという気がする。子どもたちが本物に触れるということは何の教科でも多分大事だと思うので、何かサポートをして、初めの1歩を格調高いものでやってほしいと思う。今の現実を考えると、もちろんブローキングリッシュでも嫌いにならずに、将来的にというのはあるかもしれないが、政令市である岡山市なので、国際理解教育には何なりか岡山市としてこれはするんだというものがあればうれしいかなと思った。</p>
塩田委員	<p>○ それに関連するが、例えば、15時間授業が増えるということだが、ALTの制度等は、これまでと変わるのか。</p>
指導課長	<p>○ ALTについては、今年度、36人のところを50人に増やしている。これは、実は小学校の英語の導入を視野に入れて人数を増やしているので、この辺をしっかりと活用していきたい。</p>
石井委員	<p>○ 現時点では多分全く想定されてないと思うが、今後、今行っている学力調査の中に英語が入ってくる可能性は考えられるのか。</p>
指導課長	<p>○ これは、確実に入ってくるということが文部科学省からも聞こえている。</p>
石井委員	<p>○ それはいつぐらいになるのか。</p>
指導課長	<p>○ 来年が予備調査で、平成31年度からの予定である。</p>
石井委員	<p>○ そうしたときに、小学校の学力調査でそこがはかれるとなると、先ほど話のあった、まず英語嫌いにならないようにという部分とはまた別の要素がかなり入ってくることになり、どう捉えたらいいのかということがあると思うが、そこはいかがか。</p>
指導課長	<p>○ 恐らく中学3年生のほうに課せられ、中学3年生の学力調査の評価が1つ増えると思われる。</p>
石井委員	<p>○ 小学校はどうか。</p>
指導課長	<p>○ 小学校は、まだその辺りまで具体的には伝わってきていないが、子どもたちの学力、英語力をどういうふうに把握していくかは、全国調査だけではなく、いろいろな角度でやらないといけないので、聞く、話すも含めて、その能力をどうはかっていくか、一つは今年度から民間検定をモデル校の7校でしているところもあるので、その結果等も追いかけていこうと考えている。</p> <p>それから、学力アセスはもう英語を入れているので、そのあたりも関連づけながら、課題も見つけながら、地道に取り組んでいきたいと考えている。</p>
藤原委員	<p>○ 同じ学力状況調査関係だが、この2の学習指導要領説明会のときに、小学校と中学校が集まって、管理職も含めて話し合いをされたのはとてもいいことだと思った。そのときに、今回の学力状況調査の結果について話題になったか。少し上昇みで、やっていることが少し芽を出してきたかなということ、現場も元気が出るかなという気がするが、そういうことについて、指導課から触れたとか、現場から何か出たとかいうことがあったか。</p>
指導課長	<p>○ 8月17日の時点ではまだ結果が返ってきてなかったもので、そのときは残念</p>

	<p>ながらなかったが、今度、10月に改めて全国調査の結果について研究協議をする場面を設けている。そこでは、こちらからの説明もあるが、同じように中学校区ごとに集まって課題の共有と、今後の取組を協議していただく時間を設けている。年々協議の時間が足りないぐらい充実してきているので、今年度もかなり期待したい。</p> <p>それから、今回の結果については、8月、9月の小学校長会、中学校長会でまずは結果についての解説をしている。背景というわけではないが、申し上げたのが、これまでやってきたことをしっかり自信を持って丁寧に進めていきたいと思いますということで校長先生方にはお願いしている。特に職員室の先生方が自信を持って取り組めるような言葉がけをしてほしいと、授業を見て、必ず褒めていただきたいということをお願いしているので、今後も、とにかくやる気を高めていくような働きかけをしていきたいと思っている。</p>
藤原委員	<p>○ いつも悪い、悪いと言われているときは元気が出にくいこともあると思うが、今のほうが前向きにできるかなと思う。全国が頑張っているときに、それより少し上にいくというのは、相当現場が頑張っているのだと思う。それが本物の力かどうかが分かるのは来年度以降だと思うが、小学校がやってきたことでいいことは、やはり中学校もモデルにしないといけないと思う。学校種が違って、授業等の取組はそんなに違わないと思うので、そうやって中学校区ごとに集まる機会が多いのはものすごく有効ではないかと思った。教育大綱の目標は達成できたり、達成できてなかったりするののか。</p>
指導課長	<p>○ まだ1年目であるし、地道に取り組みながら、徐々に近づけていけたらと思っている。特に中学校が今回、かなり大きな歯車が回ったという感想を私自身は持っている。小学校がよくて目立たなかったが、特に基礎の問題がほぼ全国平均になったというのはこれまでになかったこと、ここ5年間なかったことなので、しっかり自信を持って授業改善をやっていたらいいと思う。</p>
藤原委員 石井委員	<p>○ 歯車が回ったという実感があるのはすごいことである。</p> <p>○ 長くなって申し訳ないが、ここに書いてあるプログラミングは除くというのは、移行措置の中ではやらないで、平成32年度以降にそういう授業をやっていくという理解でよいか。</p>
指導課長	<p>○ そのとおりだが、プログラミング教育もかなりいろいろなところから注目をされているので、本来はこうあるべきだと、ただ単にコンピューターを触ったりロボットを動かしたりするのではなくて、思考の問題であるということこれからしっかり訴えていって、準備を進めていきたい。</p>
教育長	<p>○ イングリッシュビレッジについて、参加者が45人というのは、例年と比べてどうなのか。</p>
地域子育て支援課副主査	<p>○ 例年、定員を60名としていて、夏休みということで、いつもこの時期は小学校の高学年の5・6年を対象にしている。地域の大掃除と重なっているところが結構多くて、少し時期をずらしてほしいという保護者の方の声も聞こえているが、学園のほう、それから講師の関係等を鑑みて、どうしてもこの時期になってしまう。6年生の参加が少し少ないが、例年5年生が中心の活動になっている。昨年度も同じぐらいの人数だった。</p> <p>また、秋に、今度は旧福谷小学校で行う。今年から新しくQRコードで募集をかけたので、昨年度より応募が多い。来月の頭が締め切りとなるが、今のところ60人近く応募が来ているので、このままいくと抽選という形になるかと思う。また場所を変えながら地道にやっていきたいと思う。</p>
藤原委員	<p>○ これは中国学園だが、イングリッシュビレッジはいろいろな大学が入っているのか。</p> <p>○ もともと立ち上げたときに中国学園と岡山市でやっており、他の大学も入っ</p>

<p>藤原委員 地域子育て支援課副主査</p>	<p>てもらおうという話も今、出てはいるが、まだ中国学園大学1校である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもを対象というのもよいが、先生は行ったらいけないのか。</li> <li>○ 何年前か前、菅野教育長が校長先生をされていたときに、教員の方をお手伝いで関係者の方が呼んで来られていたことはあったが、今は我々市の職員と、中国学園の国際学科の方、そのときのスタッフがやっている。教員の方もぜひ来ていただきたいので、学校には1枚ずつパンフレットをお送りしている。教員の方もぜひお手伝い、それから英語学習は今、こんなことをしているという現状を知ってもらいたいということで案内はしているが、ここ2年、私が参加してから来られた方はいない。</li> </ul>
<p>藤原委員 地域子育て支援課副主査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主催はどう書いてあるのか。地域子育て支援課だけが書いてあるのか。岡山市か。</li> <li>○ 主催は岡山市教育委員会でも出させてもらっている。</li> </ul>
<p>藤原委員 地域子育て支援課副主査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 岡山市と岡山市教育委員会か。</li> <li>○ あと、中国学園である。</li> </ul>
<p>藤原委員 地域子育て支援課副主査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国学園と、3つの共催か。</li> <li>○ はい。</li> </ul>
<p>藤原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ さっきからの話だが、英語が大事になるのに、このように楽しく学べる方法等を現場の小学校の先生が知ること大事と思うので、積極的に参加したらいい。キャパシティがないかもしれないが、お手伝いという形ができればよい。どこかで広報をしているのだろうが、もっと積極的に広報をして、すてきな活動ができればいいと思う。</li> </ul>
<p>塩田委員 地域子育て支援課副主査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これはリピーターは多いのか。</li> <li>○ 小学校5・6年生が対象なので、やはり5年生がたくさん多く参加してくれていて、夏と秋に開催するが、秋は、夏に参加して楽しかったから来ましたという方が3割、4割ぐらいはいる。あとは新規の方が、夏は行けなかったが秋に応募しますとか、いろいろな方がいる。5年生から連続して、今年度2年目で来てくださっている子も何人かいる。</li> </ul>
<p>塩田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それを聞くだけでも、すごく楽しい企画なのかなと思うので、定員もだんだん広げつつ、そういうリピーターがたくさんいて楽しいんだよということを皆さんに広報して、集めていただければいいと思う。</li> </ul>
<p>藤原委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10番目の学校訪問はいかがか。もう何校目になるか。</li> <li>○ 12、3校目になると思う。</li> </ul> <p>御南中学校は非常に落ちついていて。地域が本当に協力的で、学校にエールを送って、地域のものすごいバックアップができています。私が行ったとき、運動会の練習をしている学年もあったが、本当に一生懸命取り組んでいた。さぼったりするような、後ろ向きな子どもがいなかったのでもいい学校だなと思った。校長先生が一生懸命、いろいろと子どもを楽しませることを本当に頑張っていた。</p>
<p>藤原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模校がそういう方向に行っているのは、よいことだと思う。</li> </ul>
<p>7 議事の概要</p>	
<p>教育長 教育長 教育長 全委員 教育長 全委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9月定例岡山市教育委員会を開催する。</li> <li>○ 本日の傍聴希望者はないようである。</li> <li>○ 日程第1、会期は本日1日限りとしてよいか。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> <li>○ 日程第2、8月の議事録があるので、問題がなければご署名願う。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> </ul>

教育長	○ 日程第3、事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
教育長	○ 次に、議事に入る前に会議の公開、非公開について諮る。日程第4、報告第24号は、任免、賞罰等職員の身分取扱いその他人事に関する事項として、会議規則第7条第1項第1号に該当するため、また日程第5の第17号議案は、附属機関等の委員の任免に関する事項として、会議規則第7条第1項第2号に該当するため、非公開としたいと思うが、委員の皆様いかがか。
全委員	○ <承認>
教育長	○ それでは、日程第4の報告第24号並びに日程第5の第17号議案は非公開と決定する。
教育長	○ 日程第4、報告第21号を保健体育課から報告願う。
保健体育課長	○ 委員会資料の1ページをお開き願う。また、4ページには事故の概略図を記載しているので、あわせてご覧いただきたい。 本件は、私有敷地内における私有物の破損に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて、時間的余裕がなかったために9月6日に専決処理したもので、教育委員会に報告し、承認を求めるものである。 2ページをお開き願う。事故の概要を申し上げる。 平成29年6月3日土曜日に京山中学校のグラウンドにおいて、野球部の生徒が部活動中にバッティング練習を行った際に、打球が90メートルのグラウンドを横切り、高さ8メートルの防球ネットを越え、隣接する家屋のエアコン室外機のカバーを破損したものである。打球がネットを越えたため、ボールの行方を探したが、当日は発見することができなかった。7月初旬に当該家屋の電気設備の点検をしていた業者が、室外機の破損とボールが器具内にあることを発見し、相手方からの呼びかけにより、京山中学校の教師がボールを京山中学校のものとして確認し、私有物の破損事故が判明したものである。被害に遭われた方とは、市で私有地の室外機のカバーの修理に必要な1万2,636円全額をお支払いすることで和解が成立している。なお、この損害額については、全額、全国市長会学校災害賠償補償保険による保険金をもって充てることとしている。 なお、再発防止策としては、練習時に、今は90メートル、西から東へ直に打っていたので、それを対角線上で飛距離を延ばすような、距離をとれるような形ですか、もしくは反発性の低いボールを利用して、少し飛距離を抑えるようなことを考えるように指導している。
教育長	○ 何か質問やご意見はないか。
藤原委員	○ 京山中学校の運動場が90メートルというのは、狭いほうなのか。
教育長	○ 狭いほうではないと思う。
藤原委員	○ 打ち方がすごいということか。
教育長	○ すごい馬力のある選手なのかと思う。
奥津委員	○ 軟式か。
教育長	○ そうである。
藤原委員	○ 普通は、こういうときにはどちらを向いて練習するのか。校舎の方へ向いたら、また危ないだろうが。
保健体育課長	○ 防球ネットがあるので、普通だと10メートルを越えたことがない事象で、ほぼあり得ないような打球が飛んだ。
藤原委員	○ 8メートルだと越えないのが普通ということか。上手すぎたのか。
奥津委員	○ この日は土曜日か。
保健体育課長	○ 土曜日である。
藤原委員	○ この家の方は気がつかず、エアコンは動いていたということか。
塩田委員	○ ボールを追いかけていたら、どこの家に入ったかということも、敷地にボールがあるかということもわかるわけで、月曜日にでも顧問に、ボールが入りま

<p>教育長 保健体育課長</p>	<p>したという報告があれば、顧問の先生が生徒さんたちにしっかりと指導されたのかどうかというところかなと思う。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 教育長 教職員課長</p>	<p>○ 大分探したことは探したのか。 ○ そのお宅のお庭に入ったと思って行かせていただいたが、ちょうどお留守だったもので、探すことができなかったと聞いている。 ○ 報告第21号を承認してよいか。 ○ &lt;承認&gt; ○ 報告第21号を承認する。 ○ 日程第4、報告第22号を教職員課から報告願う。 ○ 専決処理の報告について説明する。報告案件は2件、報告第22号及び第23号、いずれも小学校の敷地内での事故である。続けて2ついかせていただいでよいか。</p>
<p>教育長 教職員課長</p>	<p>○ いや、一つずつ、第22号から。 ○ では、まず第22号である。資料は5ページをご覧いただきたい。 私有自動車の破損に係る和解及び損害賠償の額を定めることへの同意について、岡山市教育委員会事務処理権限規則第6条の規定により、別紙のとおり専決処理したので、報告、承認を求めるものである。 続いて、6ページをご覧いただきたい。この事故の概要だが、下段にあるように、8月8日火曜日の午前9時ごろ、岡山市立大野小学校の敷地内において、同校所属の用務員が給食室付近の雑草の草刈り作業中に、刈払機の刃で石をはね、その石が近くに駐車していた軽自動車のリアガラスを破損させたものである。被害車両の所有者と損害賠償額等について協議した結果、事故が当該職員の過失に起因するものであり、被害者に帰責事由がないことから、市は修理費の全額6万9,941円を賠償することで合意したものである。続いて8ページにその写真と事故発生状況の図を載せている。</p>
<p>奥津委員 教職員課長</p>	<p>○ どんな石が飛んでいったかわかるのか。 ○ これは全くわからず、恐らく小指の先ぐらいの石であろうと言われていたが、勢いよくいっているのが粉々になり、ガラスが割れたときには混ざってわからなかった。特に大きい石はなかったということだった。</p>
<p>奥津委員 教職員課長</p>	<p>○ 7メートル先か。 ○ はい。あと、この2件目も報告させてもらって今後の対応を説明するが、いろいろ草払機の仕様書等を見ると、大体10メートル、大きな物では15メートルくらい、近辺にそういうものがないか確認して作業しなさいとあるので、7メートルは十分飛ぶ距離ではある。</p>
<p>塩田委員 教職員課長</p>	<p>○ この間も、道路で草刈りをしたというのがあったが、今はつい立てみたいなものを持ってやっているのではないのか。 ○ 事故後の対応については、8月下旬に用務技士長を数名集めて、草払機を使った作業の全体について聴取した。そして、8月中に用務技士長会を開いてもらって、事故防止について具体策を考えるよう指示し、それを受けて用務技士長会、全員で9人いるが、その中で再検討して、9つのブロックにおいて、各用務技士長がブロック内の用務員に飛散防止についての注意事項を徹底するというので今、現在行っていて、今週中に全てのブロックで終わる予定である。 教職員課からは、飛散防止の具体策を明記した事故防止についての通知をしている。あわせて校長会等で事故防止についての徹底を図っているところである。 具体的に指示している内容は、作業をする際、20メートル以内に人や破損するおそれのあるものを近づけないこと。自動車などは20メートル以上離れた場所に移動させること。移動できないものが20メートル以内にある場合は、必ず飛散防止対策を講じるということで、今、おっしゃっていただいたように、保護板等を補助の人をお願いして持ってもらうか、または、飛散防止のためのネット、ブルーシート等を事前に張りめぐらすということを指示している。ま</p>

	<p>た、従来から言っているとおり、飛散するおそれがある小石があれば作業前に取り除くということだが、先ほど申したように、本当に小さな小石も飛んでしまい、なかなか難しいので、シートやビニールを使って作業をするように指示しているところである。</p>
<p>藤原委員 教職員課長</p>	<p>○ 飛散防止で、例えば、保護板やブルーシートを使うとしたら、学校が学校ごとに用意するのか、ブロックで用意するのか。</p> <p>○ まず学校ごとだが、用務員の場合は、夏休みに大体共同作業を行っている。そのブロック等で集まって作業をするので、こういう草払いの作業を共同でできれば、1つのシートで幾つもの学校ができると思う。そこはお金のこともあるので、今検討してもらっている。</p>
<p>藤原委員 教職員課長 藤原委員</p>	<p>○ 年間何回かは起きています。</p> <p>○ 本当は起きてはいけませんが、去年2回起きて、その前が1回だった。</p> <p>○ 保護策というか、例えば、勤務時間との関係もあるが、勤務の割り振りを変えて、他の職員がいないときにするといったことは難しいのか。</p>
<p>教職員課長</p>	<p>○ 大野小学校では、たまたま耐震化工事があるって、通常の駐車場にとめられないということで運動場にとめていた。また、夏休みも先生が勤務されるので、車は何台かあるという状況がある。優先は児童・生徒のいない時期にするということで、どうしても夏休み中が多くなるが、なかなか勤務時間外というわけにもいかないし、今年から導入している全校閉庁日にしようかという話もあったが、あの日は閉庁してもらおうようにしているので、なかなか難しい。今言ったような防止策でいくしかないのかなと思う。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ 何回か起きているわけで、何か少し工夫をしないと、年間に何回かは起きる可能性がある。</p> <p>　　もう一つ、最近、外部の方の車について、全国市長会の賠償で対応しているが、校内の教員の車の場合は該当するのか。</p>
<p>教職員課長 藤原委員 教職員課長 藤原委員 教職員課長 藤原委員 教職員課長</p>	<p>○ 今回の被害車両の所有者は教員である。</p> <p>○ 教員なのか。</p> <p>○ はい。教員も適用される。</p> <p>○ 大安寺南町と書いてあるが、教員なのか。</p> <p>○ はい。もう一件は業者である。</p> <p>○ それなら同じ扱いができるということか。</p> <p>○ はい。これがまた、駐車場代を取るとかという話になると、難しいところがある。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ そういうことを考えたら、使えないのかなと思ったりしたが、今のところ、それは使えるのか。やる人は一生懸命やっているのだから、防止策は難しいけれど、何かガードするものを用意したり、時間帯や場所の移動等を考えないといけない。石が飛ぶのは仕方ないと言っはいけないが、使い方が悪いのではないのか。</p>
<p>教職員課長</p>	<p>○ 去年、いろいろこういう事故があったので徹底してくださいという通知を人事財務課から出していたが、用務員の耳にまで届いているのが半数ぐらいではないかと思う。今年はそこも含めて完全に徹底して、ブロック会では用紙を手渡ししてもらって、欠席されている方にはブロック長が個々に指示をしている。実際、こういうことをしないといけないということ自体を知らない職員もいたのが現状だったので、そこは徹底して、どのぐらい防げるのかということだ思う。</p>
<p>奥津委員</p>	<p>○ 刈払機は、ビニールの手動で回るもの等もあるが、あれのほうが弱いということはないのか。</p>
<p>教職員課長 奥津委員 教職員課長 奥津委員</p>	<p>○ あれのほうがどうやら飛ぶようである。</p> <p>○ あれのほうが飛ぶのか。</p> <p>○ 安全性はあるが、石を飛ばす力はかなりあるようである。</p> <p>○ 作業効率は低くなるかもしれないが、パワーを弱めるとか。</p>

教職員課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際どのぐらい飛ぶか調べたら、とてつもない数字があって、振りをつけてわざとしたら、60メートルぐらい飛ぶようである。だから、そういう意味ではいろいろな方法で防止するしかないのかなと思う。</li> <li>○ 比率としては案件が結構あがっているが、作業している人の目に入ることはないのか。説明書に目をガードするといったことが書いてあるのか。</li> <li>○ 従来、刈払機は自分の手元のほうには保護カバーがついている。それをしないとやはり石が飛んできて足の骨折とか、指の骨折といったことがあるようで、作業をする人間は守られる形になっている。</li> <li>○ 報告第22号を承認してよいか。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> <li>○ 報告第22号を承認する。 続いて、報告第23号を説明願う。</li> <li>○ 資料の9ページの第23号である。報告内容については、先ほどと同様になるが、10ページをご覧いただきたい。これも下側になるが、この事故の概要についてだが、8月21日月曜日午後3時ごろ、岡山市立津島小学校敷地内において、同校所属の用務員がプールフェンス付近の雑草の草刈り作業中に草払機の刃で石をはね、その石が合併浄化槽の保守点検のために来校し駐車していた株式会社アールエコ所有の軽自動車に当たり、右側スライドドアガラスを破損させたものである。被害者である株式会社アールエコと損害賠償額等について協議をした結果、事故が当該職員の過失に起因するものであり、被害者に帰責事由がないことから、市が修理費全額2万4,300円を賠償することで合意した。 11ページに写真と、事故発生状況を載せている。 2件両方ともだが、先ほどから話になっているが、賠償額は全額、全国市長会学校災害賠償補償保険による保険金をもって充てることになっている。</li> <li>○ 同じような件だが、何かご意見はあるか。</li> <li>○ 8ページの写真を見ると、ガードするようなエプロンをしたり、顔を全部タオルで囲ったりといった形で、安全策はしっかり用務員の方々もとられているということか。</li> <li>○ 作業する者の安全のほうは意識している。だから、作業している者がけがをしたことは、今まで報告にあがっていない。</li> <li>○ 万全な体制でやっていただくということと、私もこの間道路の草刈りを見て、多分どこでもそれは起こり得るというか、それでだんだんに防御するようになってきているのかなと思ったので、しっかりとそのあたりを徹底していただければと思う。</li> <li>○ 徹底させていただく。</li> <li>○ 報告第23号を承認してよいか。</li> <li>○ &lt;承認&gt;</li> <li>○ 報告第23号を承認する。本当に徹底をしっかりとしてほしい。 以上で、公開議案の審議は全て終了する。次に非公開の審議に移る。</li> </ul>
石井委員	
教職員課長	
教育長	
全委員	
教育長	
教職員課長	
教育長	
塩田委員	
教職員課長	
塩田委員	
教職員課長	
教育長	
全委員	
教育長	

傍聴の状況		
報	道	0名
一	般	0名

平成29年9月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成29年9月26日（火）		
2 開会及び閉会	開会 14時50分		
	閉会 15時00分		
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	奥津晋	
	委員	塩田澄子	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	安田充年	教育次長	天野和弘
統括審議監	小西洋史	審議監（学校教育担当）	三宅泰司
審議監（社会教育担当）	澤岡哲雄	審議監（企画総務担当） （教育企画総務課長事務取扱）	村田守
審議監（生涯学習担当） （生涯学習課長事務取扱）	近藤康彦	生涯学習課課長代理	安東信哉
事務局（教育企画総務課課長補佐）	生田裕宣	事務局（教育企画総務課副主査）	長森晴子
5 議題及び結果			
報告第24号 第17号議案	専決処理の報告（岡山市教育委員会事務局職員の人事について） 岡山市社会教育委員の委嘱について		承認 原案可決